

新聞評にみられる舞踊批評語についての一研究

—アルビン・エイリー 舞踊団について—

明尾真弓

1. 研究目的

舞踊作品の評論文にあらわれる言語を把握することは、舞踊において何が伝達されているかを考える上での一つの視点になると考えられる。その際、言語は機械的に分節化された単語としてではなく、文脈や構造の中で検討される必要がある。

今回は、アルビン・エイリー舞踊団に注目し、これらのことをふまえた上での言語の把握により同舞踊団の批評について考察することを目的とする。新聞評は、ニューヨークタイムズ紙上に掲載された舞踊評に求めた。

2. 研究方法と結果

(1) 1983-1985年の公演評(27件)にみられる舞踊評価語についての検討

批評用語の抽出は、①批評文の中より、公演全体についての解説など、作品以外の記述をのぞく ②事実を解説した文章をのぞく ③作品の表現内容、ダンサー、演技について形容した用語をひろう という手順で行った。このようにして得られた批評語より、頻度3以上の35語と、批評されていた29作品(表1, 2)中、その用語を用いていた26作品を変数として、数量化Ⅲ類を適用し、分類した。

その結果、図1, 2が得られた。

図1より、第Ⅰ象限には、「儀式としての」「抽象的な」「反復性の」といった用語がプロットされ、これを「様式」の用語にとらえた。同様に、第Ⅱ象限には、「精神的な」「甘美な」に代表される「美的感性」の用語が、第Ⅲ象限には、「黒人の」「情熱的な」に代表される「黒人らしさ」の用語が、そして第Ⅳ象限には、「リリカルな」「感情的な」に代表される「感情性・情緒性」の用語が集まっているととらえた。このことから、アルビン・エイリー舞踊団の舞踊批評は、「様式」「美的感性」「黒人らしさ」「感情性・情緒性」の4つの基準からなされていると考えられる。また、図2と対応してみることで、これらは、各々の作品を特徴づける基準とも考えられる。

(2) 舞踊作品『リベレーションズ』の評定結果の検討

舞踊批評家による批評文にあらわれた用語をもとに、評定用紙を作成し、実際に一般学生に舞踊作品をVTRで見せ、評定してもらった。それをSD法を用いて分析した。舞踊作品は、アルビン・エイリーの代表作である『リベレーションズ』より取り上げた。

その結果、用語は図3のようにプロットされた。図1において第Ⅲ象限にみられた用語は、縦軸の下方に分布し、第Ⅳ象限にみられた、「効果的な」「ユーモアのある」は上方にある。同様に第Ⅰ象限にみられた用語は横軸にみることができ。 (1)で得た「黒人らしさ」「感情性・情緒性」「様式」の構造は、一般学生にも共通してみられたが、「美的感性」は独立していなかった。

3. まとめ

アルビン・エイリー舞踊団の舞踊批評は批評家により、「様式」「美的感性」「黒人らしさ」「感情性・情緒性」という視点から批評されていた。また、このうち「様式」「黒人らしさ」「感情性・情緒性」という視点は、一般学生にも同様にみることができた。

1 儀式としての (17)	8 甘美な (8)	15 アマゾン (3)	22 甘美な (3)	28 ×ロドラマ風 (3)
2 クールな (7)	9 雄弁な (6)	16 思いがけない (3)	23 遊戯的な (3)	30 ジャズの (3)
3 すばらしい (6)	10 11 情熱的な (6)	17 反復性の (3)	24 静かな (3)	31 巧みな (3)
4 ドラマチックな (5)	11 目立った (5)	18 デリケートな (3)	25 注目すべき (3)	32 自然な (3)
5 リリカルな (5)	12 情熱的な (5)	19 効果的な (3)	26 都会的な (3)	33 鋭い (3)
6 抽象的な (4)	13 印象的な (4)	20 感情的な (3)	27 精神的な (3)	34 なめらかな (3)
7 黒人の (4)	14 うず巻くような (3)	21 ユーモアのある (3)	28 機知にとんだ (3)	35 巧み-された (3)

<表1 批評用語一覧> (注) ()内-頻度

① Night Creature	9 Swite Otis	⑩ Revelations	⑮ Memphis
2 Night Shade	10 Still Point	⑪ Blues Suite	⑯ Precipice
③ Cry	11 Collage	19 Songs Without Word	⑰ Fontessa and Friends
4 Rainbow Round My Shoulder	12 Portrait of Billie	⑳ Pas de Duke	⑲ To Jose Clemente Orozco
5 Fever Swamp	13 Treading	⑲ Landscape	⑳ Lullabye for a Jazz Baby
6 Pig and Fishes	14 Stack Up	22 Blue Shift	
7 Concerto In F	15 Lament	⑳ Phases	
8 Divining	⑮ ISBA	㉑ Love Song	

<表2 作品名一覧> (注) ○印: エイリー振付作品
○印: 表1中の批評用語が使われていない作品

